

令和8年度 第1回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和8年7月8日（水曜日）午後1時30分～

場所 わかくさ・プラザ 学習情報館 2階 ギャラリー

◆出席者

（図書館協議会委員）

三輪英二、波多野壽美、平川貴久、宗宮昭雅、河合裕子、早川貞子、鈴木幸子、可児翔也、
長屋沙織 以上9名

（事務局）

遠藤真理子協働推進部長、野田和江生涯学習課長、横山陽平、三原麻梨絵

（図書館）

庄司龍彦館長、亀山並枝館長補佐

◆傍聴者 なし

1 開会

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

皆様こんにちは。今年は例年になく涼しい日が続いており、大変ありがたいことだと感じております。しかし、今週末からは通常通り暑さが戻ると言われていますので、体が順応できるか少々心配しております。私もこの職をお受けして2年以上が経ちますが、このような会議に出席すると図書館の運営状況について報告を受け、その内容に感銘を受けることも多々ございます。このような機会がなければ、この状況を見過ごしてしまっていたかもしれません。

今年度の広報5月号に、図書館に関する記事が掲載されました。記事を読み進めるにつれて、素晴らしいと感じる点がいくつもありました。特に感銘を受けたのは、電子図書館についてです。私自身も電子図書館の「Libby」を利用し、読んでいるところですが、このコンテンツ数も素晴らしいものがあります。その他、いくつかのイベントも企画されています。また「森のはなれ」のような過ごしやすい環境が整備されているなど、大変素晴らしいと感じております。そうした話をしていると、それでは分館の状況はどうか、と疑問が生じるかもしれませんが、中央の図書館がしっかりと機能していれば、それに紐付けされて分館でも充実したサービスが受けられます。電子書籍については、場所を問わず利用できます。そうした利用がさらに普及し、利用者が

増えていくことを願っております。本日は一部役員の方の交代もありますが、運営状況についての報告がございますので、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

4 自己紹介

5 協働推進部長あいさつ

皆様、こんにちは。協働推進部の遠藤でございます。本日はご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また日頃から図書館運営につきましては、皆様に格別なご指導やご支援をいただき、心より感謝申し上げます。先ほど新たに宗宮委員様を委嘱させていただきました。改めまして委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

私からは、図書館について感じたことを少し述べさせていただきます。正直なところ、図書館は昔のイメージですと、単に本の貸し借りをする場所だと思っておりました。しかし、最近図書館を訪れると、様々な方が利用されており、勉強する高校生から小さなこども、そして高齢者まで、本当に地域社会における知の拠点と言っても過言ではないような場所になりつつあると感じております。それと同時に、会長からもご紹介がありましたように、現在はデジタル化の時代となり、多様な情報が手軽に入手できるようになりました。そうした中で情報の質を担保すること、そして地域コミュニティにおける図書館の役割の多様化を強く意識し、今後も図書館を盛り上げていきたいと考えております。これらの点を踏まえながら、皆様には様々なご意見をいただき、今後も関市の図書館が魅力的な場所となるよう、お力添えをいただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

6 議事（三輪会長による議事進行）

① 図書館運営状況について

- ・図書館長より資料に基づいて説明
- ・質疑応答

【委員】読書は、コストパフォーマンス・タイムパフォーマンスが悪いと最近よく耳にします。

AIで要点をすぐにまとめられる時代で、最近のこどもたちはSNSなどで短文サイトばかりに接しているため、長文が読めず、試験問題が読解できないという状況があります。

今や読書をしないという選択をする人が本当に増えておりますが、図書館の色々な取組が読書機会へつなぐと良いのではないかと感じました。

【委員】現在、保育園入園前のこどもたちと関わりますが、お母さんたちもこどもたちも本が

大好きで、パネルシアターや読み聞かせを行うと、お母さんの膝の上で、こどもたちはとてもよく聞いています。最近はお父さんの参加も増え、お母さんお父さんの膝の上で本に触れ合っていく、その大切さを強く感じます。また、ふれあい文庫がとてもありがたいです。お母さんたちは、わかき・プラザに来られなくても、遊びに来たついでに喜んで本を借りていけます。やはり身近に本があるということは、とても良いことだと感じます。

【委員】ブックスタートについて、4ヶ月健診の際にこのような機会があることは、とてもいいと思いますが、そこで途切れてしまうのが現状です。その後も健診は定期的にあります、いつも図書館に寄らずに帰ってしまいます。もし可能であれば、分館分室の職員では人数が少ないため、本館から人員を派遣していただき、健診に来たこどもだけでなく、地域のこどもたちも対象にしたおはなし会が分館分室でもできれば、読書の習慣化につながるのではないかと思います。

【事務局】武芸川分館などからはおはなし会の依頼があり、実施しています。本館と分館分室の職員が集まる会議がありますので、地域の職員の方々には、そういった場で周知していければと思います。

【委員】以前ブックトークを聴く機会があり、感銘を受けました。ブックトークに縁がない未就園児や小学校の保護者の方々に対して、イベントの際などブックトークを開催すると、図書館利用のきっかけになるのではないかと感じます。また、ブックリサイクルについてですが、図書館でこんな良い本を持ち帰ることができた、と言われた人が何人かいました。年に何回開催しているのでしょうか。

【副館長】ブックトークに関して同じ意見を以前いただいた際、図書館のイベントで実施したところ参加者は3人でした。ブックトークという言葉があまり知られていないと思います。ブックリサイクルフェアは年1回ですが、環境フェアでは古本の交換会も実施しています。

【委員】地域のコーディネーターとして活動する中で、こどもたちに読み聞かせを行う機会もあります。本日の報告の中で、大型絵本を借りられるなど活用できることが色々あると知りました。やはり情報を知ること、できることを聞きに行くことが大事だと感じます。

【委員】おはなし会でも、こどもたちは読み聞かせは大好きですが、小・中学校へ上がるにつれて、それが読書につながっていくのが大事だと思います。学校でのこどもたちの

読書習慣については現状どうでしょうか。

【委員】本を読む子どもと読まない子どもは二極化が進んでいます。こどもの個性や家庭の事情は様々ですが、学校では本に触れる機会を少しでも増やそうと、ブックトークをお願いするなど取り組みを行っています。これは子どもだけでなく職員も指導の参考になるためとても感謝しています。学校での体験が大人になってからの読書習慣のきっかけになることもありますので、朝読書など今後も本に触れる機会を増やしていけるよう努めます。

【会長】本の貸出数が年々減っているという話がありました。これは紙の本の利用が減って電子書籍利用が増えているからなのか、単純に読書をする人が減っているのでしょうか。

【副館長】学校にアンケートを実施したところ、今の子どもたちは生まれた時からタブレットなどデジタル機器が身近にあるため、紙の本は苦手だが電子書籍なら抵抗がないとの声も多くありました。それも1つの本との出会いだと考え、そこから紙の本への興味へとつながってくれたらと思っています。

【事務局】今年度、電子図書館を高校でも引き続き利用できるようにと関商工高等学校にも導入しました。高校生も読書の機会が減っており、朝の時間に電子図書館を活用していただけたらと考えております。また、10月からの休館期間中のおはなし会を児童館で実施するように調整していますので、普段図書館には来ない方もおはなし会に来ていただける機会になるのではないかと思います。

【委員】武儀分館におきましても、やはりこどもの数が年々減少していることが大きな課題となっており、利用も減っている現状です。そういった中で、広報などで分館分室の魅力を発信する機会やイベントがあると、今まで利用がない人にも足を運んでいただくきっかけになるのではないかと思います。

② 学習情報館改修工事による図書館の休館について

【事務局】10月から翌年1月までの4ヶ月間、学習情報館全体が工事のため閉館をいたします。消防設備の更新の工事で、私たち事務職員は業務を行います、一般の来館者の方が入ることができません。ただ、図書館だけはできるだけ利用できるように、10月と11月の2ヶ月間を休館とし、12月からは開館する予定です。その他の貸館部分、例えば多目的ホールや会議室などは、1月末までの4ヶ月間閉館となります。図書館の閉館期間の2ヶ月間についてですが、学習情報館となりの総合福祉会館1階ロビーにて臨時カウンターを設置します。臨時カウンターでは予約本の貸し出しや本の返却ができるほか、ロビーを利用して、新着本や返却本を開架す

る予定ですのでこういった本の貸し出しも可能となる予定です。ただし、福祉会館1階を間借りさせていただく形ですので、関係各所と調整のうえ、通常の福祉会館の利用者に支障のない範囲で開設をします。臨時カウンターは通常時と同じく、朝10時から開館の予定ですが、終了時間については現在調整中です。

工事による閉館と臨時カウンターの設置については、広報9月号にて市民の皆様にお知らせする予定です。利用者様にはご不便をおかけしますが、できる限りの対応をしていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

7 閉会（生涯学習課長あいさつ）

委員の皆様、本日は多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。分館分室についても多くご提案をいただきましたが、分館分室は本館に比べて蔵書数などは少ないかもしれませんが、その分地域の皆様が利用しやすいよう、手厚いサービスが行われています。貸出中の本が一目でわかりやすいよう掲示が工夫されているなど、分館分室ならではの環境作りがされていると感じました。図書館は小さな子どもからご高齢の方まで、男女問わず幅広く利用されています。高校のテスト期間中には、図書館の開館を待つ高校生の列が正面玄関付近まで続くなど、年々学生利用も増えております。図書館が本の貸出だけでなく、学習の場の提供やイベント・講座の開催の場など多様な目的で活用されており、時代に合わせたサービスを提供し、地域貢献をしていく必要があると改めて感じているところでございます。本日皆様からいただきました貴重なご意見やご提案は、今後の関市の図書館運営に、しっかりと反映させてまいりたいと存じます。もうすぐ子どもたちは夏休みに入り、図書館の利用もさらに活発になってまいりますので、より一層市民の皆様が快適に過ごせる図書館づくりを進めてまいります。今後も引き続きよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。